

外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語演習	4	3年	

使用教科書	副教材等
Landmark English Communication I (啓林館) Landmark English Communication II (啓林館)	「LOOP 最新の入試傾向に基づく英語長文問題集I」 (啓隆社)

科目の目標
基礎的・発展的な演習等を通して、「英語コミュニケーションI」「英語コミュニケーションII」の目標・内容に示された資質・能力を育成する。

ë	
知識・技能	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか	L	R	I	P	W		
		CAN-DO ID											
		領域	NO	記号									
4	1 2	W	3	ア	A2	家族や友人との関係の中で、絆や強い結びつきを感じた経験について、具体的な出来事に基づいて説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・他	PT
5	3 4	W	3	イ	A2	日本の観光産業の強みと弱点について、明確な理由や根拠とともに、論理的に書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT
5 ・ 6	5 6	P	3	ア	A2	最も役に立つ発明とその理由について、自分の意見を述べる際に必要な表現を用いて、説明することができる。	知思態	知思態		知思態		授・定	PT/PFT
7 ・ 9	7 8	W	3	イ	A2	動物園での芸術活動に関する英文を読み、活動の重要性について、利点を含めて相手に説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT
9	9 10	W	3	イ	A2	情報社会での安全生に関する英文を読み、もしSNS等のパスワードが盗まれたらどうなるか仮定して、説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT
10	11 12	W	3	イ	A2	技術革新によって環境・社会問題を解決する方法を英語で提案することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか							
		CAN-DO ID											
		領域	NO	記号									
I1	I3	W	3	イ	A2	将来、自分の希望する職業の仕事内容にAIがどのように役立つか、紹介することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT
I2	I5	I	3	ア	A2	日本のことわざを意味や、起源、使用例などを用いて、外国人留学生に説明することができる	知思態	知思態	知思態			授	PT/PFT
I	I6	W	3	イ	A2	第二言語として英語を習得することの利点・問題点について、自分の経験に基づいて説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	3年	

使用教科書	副教材等
LANDMARK English CommunicationⅢ(啓林館)	サブノート、ワークブック、 LEAP、Focus on Listening、改訂版Jet Reading Level2

科目の目標
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況 の評価の記録					評価 場面	評価 方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか							
		CAN-DO ID											
		領域	NO	記号									
4	1	I	3	ア	A2	参加してみたいボランティアについてグループで話して、 伝え合うやり取りを続けることができる。	知思態	知思態	知思態			授・定	PT
5 ・ 6	2	W	3	イ	A2	文化的背景の異なる人々と協調して暮らすために重要だと思 うことについて、情報や自分の考えを論理性に注意して複 数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT
6 ・ 7	4	I	3	ア	A2	ステレオタイプの要因や、ステレオタイプの要因や、それ を克服する方法について、情報や自分の考えを詳しく話 して伝え合うやり取りを続けることができる。	知思態	知思態	知思態			授・定	PT
9	3	P	3	イ	A2	未来の世代にどのような無形遺産を保存したいかについ て、その歴史と特徴を踏まえ、情報や自分の考えを論理 性に注意して詳しく話して伝えることができる。	知思態	知思態		知思態		授・定・他	PT/PFT
10	5	W	3	イ	A2	差別や偏見のない中立的な用語に関する2人のスピーチを 聞き、どちらの意見に賛成・反対かについて、複数の段落 から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT
11	6	I	3	ア	A2	ムヒカの考えに同意するかについて、自分の考えや理由を 詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	知思態	知思態	知思態			授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

学習と評価の計画

時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況 の評価の記録					評価 場面	評価 方法
		主な領域			主な領域において何ができるようになるのか								
		CAN-DO ID				CE FR							
		領域	NO	記号									
L	R	I	P	W									
12	演習	R	3	イ	BI	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	知思態	知思態				授・定	PT
1	9	P	5	イ	BI	英語は少数言語にとって代わるべきかについて、その歴史と特徴を踏まえ、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。	知思態	知思態		知思態		授	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	論理・表現Ⅲ	2	3年	

使用教科書	副教材等
FACTBOOKⅢ English Logic and Expression（桐原書店）	ブレイクスルー英文法27章、アップリフト英文法ランダム演習700、スクランブル英文法・語法Basic

科目の目標
英語学習の特質を踏まえ、話すこと〔やり取り〕，話すこと〔発表〕，書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の（1）及び（2）に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の（3）に示す資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，日常的な話題や社会的な話題について，英語で話したり書いたりして，その情報や自分自身の考えなどを適切に表現したり伝えあったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか	L	R	I	P	W		
		領域	NO	記号									
4	1	I	4	イ	BI	AIに将来取って代わられない職業について話し合うことができる。 〔話法、否定、名詞と冠詞〕			知思態			授・定・他	PT/PFT
5	2	W	4	ア	BI	自身が成長した経験について描写するパラグラフを書くことができる。 〔代名詞、形容詞と副詞、前置詞〕					知思態		PT/PFT
6・7	3	I	4	イ	BI	ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをすることができる。 〔接続詞、様々な構文〕			知思態			授・定・他	PT/PFT
9	4	P	4	イ	BI	人々が環境保護のためにできることについてスピーチをすることができる。				知思態		授・定・他	PT/PFT
10	5	W	4	ア	BI	キャッシュレス決済の普及の原因とその利点を示すパラグラフを書くことができる。					知思態	授・定・他	PT/PFT
11	6	I	6	イ	B2	食品添加物の摂取についてディベートをすることができる。			知思態				PT/PFT
12・1	9	W	6	ア	B2	電子教科書と紙の教科書を対比するパラグラフを書くことができる。					知思態		PT/PFT
20	10	P	6	イ	B2	社会的な差別の問題とその解決方法についてスピーチをすることができる。				知思態			PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	スペイン語	2	3年	

使用教科書	副教材等
初級スペイン語A L B A（白水社発行・青砥清一著）	改訂版スペイン語ミニ辞典（白水社・宮本博司編）

科目の目標
話し手や聞き手の意向などを理解し、自分の考えをスペイン語で表現する基本的な能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。

è	
知識・技能	スペイン語の音声、語彙・表現、文法を実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常的で具体的な話題について理解したり、簡単な情報や考えなどを交換するなどして伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	文化の多様性を尊重し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画												
時期	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価 場面	評価 方法
	主な領域において何ができるようになるのか					L	R	I	P	W		
4・5	・スペイン語を話す国々 ・挨拶、アルファベット、数字、曜日、月 ・天候、天気を表す表現 ・SER動詞 ・季節 春					知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
6・7	・職業 ・SER動詞と形容詞 反意語 ・季節 夏					知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
9・10	・プロフィール、趣味に関する表現 ・ESTAR動詞 ・SER動詞とESTAR動詞の対比 ・ESTAR＋分詞 天気の表現 ・季節 秋					知思態	知思態	知思態		知思態	授・定	PT/PFT
11・12	・前置詞 ・季節 冬 ・Que hay HABER動詞 ・Donde esta 所在に関する表現 ・クリスマスカード					知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
1・2	・TENER動詞、QUERER動詞 ・時間に関する表現 ・スピーチ					知思態	知思態		知思態	知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	中国語	2	3年	

使用教科書	副教材等
中高版しゃべっていいとも中国語初級完成編(朝日出版社)	

科目の目標
話し手や聞き手の意向などを理解し、自分の考えを中国語で表現する基本的な能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。

è	
知識・技能	中国語の基本知識に関する事項を理解し、適切に活用できる技能を身に付けている。更に中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で話し手や書き手の意図などを理解したり、自分の考えを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画										
時期	単元	単元の目標		総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域において何ができるようになるのか								
			L	R	I	P	W			
4・5	1～6	国語の発音を身につけ、あいさつや簡単な自己紹介ができる。 [声調、母音、子音、鼻音、人称代名詞、名前のいい方、疑問文]					知思態	授・定・他	PT/PFT	
6・7	7～11	買い物で使う簡単な会話ができ、自分の希望や願望を表現できる。更に道順を尋ねることができる。 [連動文、助動詞、方位詞、数の数え方、年月日、曜日のいい方]			知思態		知思態	授・定・他	PT/PFT	
9・10	12～16	電話での会話ができ、料理の注文や旅行の感想を表現することができる。 [量詞、時刻、時間の長さのいい方、動作動詞の完了を表す助詞、助動詞]					知思態	授・定・他	PT/PFT	
11・12	17～21	家族の紹介ができ、映画やカラオケに誘ったり、人をほめることができる。 [前置詞、選択疑問文、助動詞、結果補語、様態補語、比較表現]				知思態	知思態	授・定・他	PT/PFT	
1・2	22～23	買い物での会話ができ、誕生日を祝うことができる。 [方向補語、"把"構文、単純・複合方向補語]					知思態	授・定・他	PT/PFT	

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄